

令和5年度 第10回部長会議 会議記録（要旨）

開催日時：令和5年12月5日（火） 15時00分から16時45分まで

開催場所：A203-204会議室

出席者：佐藤市長、高田副市長、熊谷教育長、原田総務部長、林企画部長、小倉リニア推進部長、牧島リニア駅周辺整備担当参事、橋本市民協働環境部長、田中ゼロカーボンシティ担当参事、林健康福祉部長、高山こども・子育て担当参事、清水産業経済部長、今産業経済部参事、井田建設部長、佐藤建設部参事、岡本危機管理部長、佐々木上下水道局長、齊藤市立病院事務局長、北原会計管理者、和泉議会事務局長、秦野教育次長、佐々木財政課長、小室秘書課長、小椋南信州広域連合事務局次長、澤柳企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

＜市長＞

- ・まもなく第4回議会が開会となるが、代表質問の場合、1回目の答弁は一括質問一括答弁となるため、現場合わせがなかなか難しい。答弁はしっかり作っておくことが必要である。また、2回目以降は一問一答のため、各部局等の長が対応していただく場面も多い。よろしく願いたい。
- ・昨年の代表質問を振り返って改めて思うが、議員側では、予算編成の基本方針が来年度の予算の姿にも見えており、結論のように扱われている。来年度の大きな方向性として、こういう予算編成したいという意思表示ではあるが、そこから予算を作っていく。予算が最後出来上がって議会に出すまでが一連の動きである。現在はまだその真っ最中である。引き続きいろいろな意味で、情報を集め、予算内容については財政とよくやり取りをしながら良い予算を作っていく。各部局でもそのつもりで動いていただきたい。
- ・いよいよ12月になり、これから忘年会があると思うが、交通安全にはぜひ気をつけてほしいということと、飲酒運転はしないこと。忘年会は、いろいろな意味でコミュニケーションの場でもある。職場や地域等の忘年会の機会をぜひ大事にして、いろいろな人の話を聞くことや、改めてネットワークを作る機会にしていきたい。

＜副市長＞

- ・今度の議会ではいろいろな案件が提案されている。総務委員会では部等設置条例や広域連合の規約改正がある。社会文教委員会では、指定管理者の指定の議案がかなりたくさんある。補正予算も一般会計だけで3件提案されている。非常にたくさんの案件があるが、説明はしっかりと丁寧にすること。しっかり対応できるように準備をお願いしたい。

＜教育長＞

- ・学校ではインフルエンザが継続して流行っている。土日過ぎると、学級閉鎖が10学級以上増える。少しずつ減少するが土日になるとまた増加する。今日も11学級が学級閉鎖となっている。お気をつけいただきたい。
- ・先日霜月祭りで熊野神社へ行ってきた。地区の方だけではできないので、いろいろな有志の方が「やろう会」となり、お手伝いをしている。遠山中学校の生徒も、踊りだけではなく、湯切りにも参加していた。若い人たちが多く参加していたため、非常に活気があった。伝統芸能的にはどうなのかという議論はあるかもしれないが、若者が楽しんでいる祭りだった。これから伝統芸能をどうやって引き継いでいくかが非常に課題だが、どうやって若い人たちに一緒にやってもらうかということだと改めて感じた。

2 報告事項

(1) 人事行政の運営等の状況について

◇趣旨

- ・人事行政の運営等の状況について報告する。

◇意見

(市長)

- ・休暇・休業の状況について、年次休暇（有給）の平均取得日数が8.8日とは前年と比較するとどういうことか。

(人事課長)

- ・前年が8.5日だったため、0.3日増加した。

(市長)

- ・目標はあるのか。

(人事課長)

- ・目標は10日である。

(市長)

- ・平均なので偏っている場合もある。
- ・部課長の中で極端に取得が少ない人がいるかもしれないが、今年度末で締めたときに、然るべき数字になるようにすること。休暇取得は課や部の計画的な休暇取得がうまくいかないと、取れない人はずっと取れない。部課長の手腕が問われる。
- ・男性の育児休業は、有休も含めてどのような状況になっているか。

(人事課長)

- ・育児休業のみだと、令和4年度は実人数が137人、うち男性が9人である。令和3年度は男性の取得者が5人だったため、4人増加した。

(市長)

- ・対象職員が何人のうち何人なのか。

(人事課長)

- ・確認する。

(2) リニア駅周辺及びその近郊における景観のあり方（考え方）について

◇趣旨

- ・リニア駅周辺及びその近郊における景観のあり方（考え方）について報告する。

◇意見

(市長)

- ・議会報告はいつか。

(地域計画課長)

- ・13日の産業建設委員会・リニア推進特別委員会連合協議会と20日の全員協議会で報告する予定である。

(市長)

- ・デザインコードにおける、「素材・色彩計画」の「自然の素材を原則とし、人工的な質感の仕様を極力避ける計画」とはどういうことをしようとしているのか。駅前広場内は、植栽を多くし、自然を感じる空間形成をするとのことだったが、それを実現するための色彩や照明に関する考え方をもう少し分かりやすく市民の皆さんに説明した方がいい。

- ・グリーンインフラがうまく理解されていないところがある。木を植えることがグリーンインフラだと思われるなど、理解が浅いことがある。グリーンインフラについて、考え方の説明を加えること。

(議会事務局長)

- ・リニア駅前広場デザイン検討会（仮称）の地元の専門家とは具体的にどういった方々をイメージしているのか。

(リニア整備課長)

- ・近くにある恒川官衙遺跡といった地元として大切にしていけないといけない歴史的なものが存在する。郷土の歴史に詳しい人たちもこの中に加わっていただくのがいいのではないかという議論をしている。どういった専門家に集まっていたかにも併せて協議をしていきたい。

(教育長)

- ・周りの景観は、降りて見たくするような景観があると非常に素晴らしい。山梨県域や岐阜県域も自然が豊かなところである。そことの違いは意識しているのか。

(リニア整備課長)

- ・飯田のベースになってくるのは、歴史の重厚さといったところである。それをどのように駅の中や、事前に降り立ってもらうためにアピールをしていくかという議論が必要になってくる。駅の自然の空間や造りも重要な個性になってくるが、事前に情報発信する等ソフト的な部分も併せてやっていくことも必要だと

考えている。

(3) まちづくり委員会等の役員の負担（感）軽減の取組等について

◇趣旨

- ・まちづくり委員会等の役員の負担（感）軽減の取組等について報告する。

◇意見

（健康福祉部長）

- ・まちづくり委員会連絡会議に依頼する審議委員等の推薦については、審議会等の委員選出する過程における説明が、足りていない。反省も含め必要なことだと思う。
- ・地区を指定する場合は良いが、地区を指定しない場合、各部局が直接やり取りをすることは、まちづくり委員会の負担になる。なぜ特定の地区に選出依頼をするのかを聞かれても答えにくい。そんなやり取りが繰り返されるのは、まちづくり委員会にとって不毛であり、効率も悪い。
- ・また、各部局では、審議会等の委員に選出されていないかどうか分からない。各部局からの希望を取りまとめ、地域自治振興課が平準化していただきたい。結果を後から示されても意味がないと思うが、どうか。

（地域自治振興課）

- ・その件については、ご相談いただいた際に、また資料をお示ししてお話をさせていただきたい。

（健康福祉部長）

- ・例えば3月に示すために、2月ぐらいに各部局から希望を提出し、それを調整し、割り振りしてもらいたい。地区を問わずまちづくりの会長に選出依頼をしたいのは健康福祉部だけではないと思うので、お願いしたい。

（地域自治振興課長）

- ・持ち帰らせていただく。

（企画部長）

- ・検討結果は、報告すること。

(4) いいだ障がい福祉プラン2024（飯田市障害者計画・第7期障害福祉計画及び第3期障害児福祉計画）の原案について

◇趣旨

- ・いいだ障がい福祉プラン2024（飯田市障害者計画・第7期障害福祉計画及び第3期障害児福祉計画）の原案について報告する。

(5) 飯田市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画の原案について

◇趣旨

- ・飯田市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画の原案について報告する。

◇意見

（市長）

- ・委員会の勉強会ではどのような意見が出たか。

（長寿支援課長）

- ・人材確保について、現場の声をしっかり受け止めてほしいという話があった。
- ・2040年に向けて当市は全国に先駆けて高齢化が進んでいるため、先を見るのではなく、先を見て現在2040年を見据えたことをやっているか書いて欲しいという意見があった。

(6) 健康いいだ21（第三次）及び第2次飯田市自殺対策推進計画の原案について

◇趣旨

- ・健康いいだ21（第三次）及び第2次飯田市自殺対策推進計画の原案について報告する。

(7) 飯田都市計画特定用途誘導地区の決定について（報告）

◇趣旨

- ・飯田都市計画特定用途誘導地区の決定について報告する。

(8) 飯田都市計画下水道の変更（決定）について（報告）

◇趣旨

- ・飯田都市計画下水道の変更（決定）について報告する。

(9) 産業建設委員会の附帯決議の取組状況について

◇趣旨

- ・産業建設委員会の附帯決議の取組状況について報告する。

(10) 令和5年度防災訓練の振返と今後の取組について

◇趣旨

- ・令和5年度防災訓練の振返と今後の取組について報告する。

◇意見

(市長)

- ・振り返りを別途時間取ってやる予定はあるのか。

(危機管理課長)

- ・資料No.10-3については、各部局においてご一読いただきたい。

(副市長)

- ・資料No.10-3の「危機管理課から意見・考え方」は各班に共有しているのか。

(危機管理課長)

- ・これが初めての公表になる。この意見に対していただいたご意見は、またこちらで受け止めたい。

- ・この後各所属において業務別行動指針の作成をしていただくが、遠慮なく各課から危機管理課へご相談をいただきたい。

(企画部長)

- ・予定の中の「課題解決に向けた実践」と業務別行動指針作成はどのように整理をして進めていくのか。

(危機管理課長)

- ・業務別行動指針は危機管理課で作成するが、実務としては担当班の業務となるため連携が必要となる。

(企画部長)

- ・具体的に実践のイメージはどのようなことをするのか。

(危機管理課長)

- ・訓練をやっていくために必要となることを考えていくという意味での実践である。実際に訓練や実働で何かをやるという実践ではない。検討を進めていくという意味での実践と捉えていただきたい。

- ・資料No.10-3の「⑤自班の課題、今後行うこと」に書いてあることを各災害対策班で実践していただきたい。

(議会事務局長)

- ・資料No.10-3の「⑤自班の課題、今後行うこと」は危機管理課で入れたのか。

(危機管理課長)

- ・各担当班で入れていただいている。「危機管理課から意見・考え方」の欄のみ、危機管理課で入れた。

(市長)

- ・実践が年度内になっているが、来年度の訓練に臨む前に人事異動もある。新しいメンバーで資料No.10-3の各班の部分を見て、「⑤自班の課題、今後行うこと」の内容も確認してから、6月、9月の訓練に臨んでいただくと良い。同じ反省を繰り返しても進歩しない。年度内に今のメンバーでレビューするというのもあると思うが、年度が変わって6月、9月の訓練に臨む前に、前回の訓練の反省をもう一回振り返る。そういう準備をしておくことは有益である。

(企画部長)

- ・報告に関しては通知が出るのか。

(危機管理課長)

- ・通知する。遠慮なくご相談いただきたい。

(11) 飯田市議会第4回定例会（閉会日）全員協議会報告事項について

◇趣旨

- ・飯田市議会第4回定例会（閉会日）全員協議会報告事項について報告する。

(12) 飯田市議会第4回定例会各委員会協議会報告事項について

◇趣旨

- ・飯田市議会第4回定例会各委員会協議会報告事項について報告する。

3 その他、連絡事項

(1) 年末年始の口座払いの日程及び第3回伝票返戻調査について（会計課）

- ・12月最終口座払いは12月27日（水）、伝票締切は12月15日（金）
- ・1月最初の振込は1月5日（金）、伝票締切は12月20日（水）
- ・日程は財務会計システムの掲示板と会計課入口に張り紙をしてあるので、確認をお願いしたい。
- ・第3回伝票返戻調査を行う。12月21日から1月22日までに提出された伝票が対象となる。改めて通知するが、御承知おきいただきたい。

4 閉 会